

ありがとうのめ

青木 美咲

「トマトさん、まっ赤なみをつけてくれて、ありがとうね。」
「きゅうりさん、青あおとしたはを元気にひろげてくれたね。ありがとうね。」

わたしのひいおばあさんは八十七才。たいようがジリジリ
てりつけるまなつのはたけで、やさいにむかって元気に声を
かけます。

「さぞあつかろうに。ありがとうね。」
むぎわらぼうしの下のひたいをながれるあせを手ぬぐいで
ぬぐいながら、毎日毎日やさいのおせわをしています。わたし
はひいおばあさんのとなりではたけしごとをお手伝いする
ことが大スキです。ひいおばあさんの手やうでは日にやけて
シワシワだけれど、大きなすきやくわをつかいこなせるくら
い力もちで強くて、わたしのとびっきりのじまんです。

ある時わたしはひいおばあさんに、
「どうしてやさいたちにありがとうって言うの。」
と聞いてみました。ひいおばあさんはニコニコしながら、
「やさいたちにありがとうって声をかけているとかくだんに
おいしくなつて、かぞくの体を元気にする力がますんだよ。な
によりやさいの中にありがとうのめがそだつ。やさいをたべ
たみひろさんのところや体の中にもありがとうのめがそだ
つ。それはとてもとおといことなんだよ。」

と教えてくれました。わたしは、ありがとうのめつて、なんだ
かすてきたなとおもいました。

ひいおばあさんがなくなつてもうすぐ三年。二年もあつい
あついなつがやつてきます。わたしのいえのはたけには、二年
も元気にやさいたちがそだつています。

「トマトさん、まっ赤なみをつけてくれたね。ありがとう。」
「きゅうりさん、大きなはっぱをつけてくれたね。ありがとう。」

と、わたしがやさいたちに毎日声かけをしています。わたしは
やさいのおせわをしながら、ひいおばあさんのおもいがいま
になつてすこしずつわかってきました。かぞくのけんこうを
一ばんにねがっていたこと。はたけのやさいたちが大きくそ
だつことをたのしみにしていたこと。そしてやさいたちには
大切ないのちがあつて、そのいのちをいただくことをありがた
いとおもう気もちを、わたしのころの中にそだててくれてい
たこと。そのおもいがわかった時、わたしのころの中にあり
がとうのめがそだつていることに気がつきました。わたしはこ
ころの中のありがとうのめが、大きくはをひろげ、たくさんみ
をつけるように、大切にそだてていきたいとおもいます。
「ひいおばあさん、ありがとう。わたしのころの中のありが
とうのめ、大切に大切にそだてるよ。」